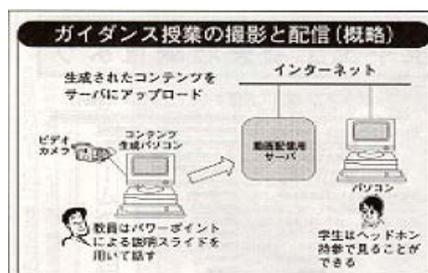


ビデオ版ガイダンス授業 キャンパス・オン・デマンドの新たな展開

専修大学のキャンパス・オン・デマンドプロジェクトは、開始以来5年が経過し、その間「ニュース専修」などで進展状況をお知らせしてきた。今回は、この4月に公開した、ネットワーク情報学部と経営学部のガイダンス授業コンテンツを中心に、プロジェクトの近況をお伝えしたい。

情報科学研究所サイバーキャンパス整備推進室長 松永賢次 ネットワーク情報学部教授

キャンパス・オン・デマンドシステムは、インターネット上に動画配信をするサーバを用意し、インターネット接続した端末でその動画を見るものである。昨年度まで、ネットワーク情報学部、経営学部の講義の様子をビデオ撮影し、それを授業の復習用として公開してきた。ネットワーク情報学部では、1年次生の必修科目6科目を見ることができるようになっている。



◆ガイダンス授業も配信

今回、新たな展開として、多くの学生が多くの教員の様子を理解できるように、講義の目的などを数分間収めたビデオ版ガイダンス授業を配信することを試みた。ネットワーク情報学部からは19教員の49講義を、経営学部からは20教員の33講義を実際に配信しており、情報科学センターの端末室から、各学部のホームページを通じて見るできるようになっている。

◆学生手伝いビデオ収集

ビデオ収録は、両学部の学生およそ10人に手伝ってもらい、主として春休み中に実施した。今回の収録には、最新のシステムを導入することで、動画と説明用資料を連動させた質の良いコンテンツを短時間で作成することが可能となった。教員が、パワーポイントのスライド資料を持参してきた場合、パソコンでスライドを操作しながら講義をすると、講義終了後すぐに完成形のコンテンツとなる。今回の収録にあたっては、学生が多くのガイダンス講義を見るようにするため、数分の長さとなるようにしている。わずか数分であっても、印刷物の講義要項からは分かりにくい、講義で扱う内容の背景が語られていて、興味深くビデオを見ることができる。

◆学生の科目履修に効果

ネットワーク情報学部の講義は、半期ごとに展開されているため、後期の授業のガイダンス講義は実際には実施されていない。このオン・デマンド型ビデオガイダンス講義によって、学生たちの後期科目履修の参考になったことは間違いない。今年度は専任教員のみ撮影を行ったが、来年度は非常勤講師を含めた形で拡大していく計画である。

◆今夏、経営学部でゼミ募集のコンテンツ作成

この夏休みには、経営学部でゼミナール募集用のコンテンツの作成を始めている。1・2年次生がいつでもゼミナールの概要を知ることができるので、ゼミナールに対するより高い動機付けになることが期待されている。

◆高大連携も視野に

最近では、ビデオ・オン・デマンドによる講義を見たいという高等学校関係者の声が高大連携の進展とともに聞かれるようになってきている。6月の体験授業フェアでも6つの講義の収録を行い、現在公開する準備を進めている。

◆学外発信の課題

現在、これらのコンテンツは大学内のみ配信されている。2、3年前、大学外に配信する際の最大の問題はネットワークのスピードであったが、ADSL等の普及により、現在

では解消されてきている。現在の最重要課題は、著作権の取り扱いであり、大学外に配信することを前提とした著作権許諾の機構を学内で整備していかなければならない。

◆コンテンツの拡大

これまで情報科学研究所で養ってきたキャンパス・オン・デマンドシステムに関する技術を学内各所に移転するため、研究所内にサイバーキャンパス整備推進室(筆者に加えて、蔵下勝行ネットワーク情報学部教授、大曾根匡経営学部教授、香山瑞恵ネットワーク情報学部助教授)を設けている。新たなコンテンツ開発に関心を持たれている方には、ぜひ連絡をいただければ、と考えている。

学生へのメリットは大きい 深津健吾くん ネットワーク情報学部3年

私たちは①ガイダンス授業の動画撮影②パワーポイント事後修正、失言カット、動画編集③COD用サーバーへの動画アップロード、チェックを行いました。映像は15分程度でも、編集には何倍も時間がかかり大変でしたが、だんだん慣れてきて、編集作業はとても楽しかったです。

今回の配信は、資料も同時に見られ講義の概要がより把握できることや、半期の授業を見ることが可能となるなど、学生にとってメリットは大きいと思います。

【ニュース専修8月号4面】

「キャリア教育部会」を設置 部会長に池本正純教授 12月メドに報告書

6月3日開催の第26回基本政策検討会議(会長＝出牛正芳学長)において、専門部会「キャリア教育部会」を設置することが決定された。

【設置までの経緯】

03年3月31日付の基本政策検討会議答申「インターンシップの拡充、セメスター制の拡充および情報通信技術の活用と新たな教育研究システムについて」のうち、インターンシップの拡充についての答申では「単位認定以外のインターンシップについては、最近において必要性が強く指摘されているキャリア教育との関連性を考慮しつつ、そのあり方について適切な時期に再度検討を行いたいと考えている」との結論を得ていたため、新たに専門部会(キャリア教育部会)を設置し検討を進めることとなった。

キャリア教育とは、人間関係形成能力、進路選択能力、意思決定能力、将来設計能力など社会人・職業人としての基礎的な資質・能力を育成する教育であると言われていたが、高等教育においては、それぞれの考え方でさまざまな試みがなされている段階である。

本学においては、すでに正課・課外でさまざまな学生教育支援プログラムを開設しているが、キャリア支援組織も含め、検討テーマ「本学のキャリア教育について」は12月をメドに報告書を取りまとめるべく、検討が行われている。

なお、部会長は池本正純経営学部教授が、副部会長は倉地克次基本政策検討会議座長が務める。

【ニュース専修8月号4面】